

令和3年度1月分

健康・福祉関係

件名	こども医療費助成制度の拡充について
内容	<p>住みよさランキングで日本一を続けている印西市は、こども医療費の助成制度において、近隣地域では最も手厚い高校3年生までの助成と自己負担金200円を実現しています。</p> <p>白井市も同様の助成を行えば、「千葉ニュータウンは子育て世代に優しい街」というイメージが定着すると思います。北総鉄道が大幅な通学定期の運賃引下げを発表した今が千葉ニュータウンのイメージを大幅にアップする最大のチャンスだと思います。</p> <p>白井市と北総鉄道の将来のために、印西市と同様のこども医療費の助成を直ちに実現していただきたいです。</p>
回答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。</p> <p>お寄せいただきました市長への手紙についてお答えします。</p> <p>当市における子ども医療費の助成については、0歳から中学3年生までのお子さんを対象とし、通院、入院の自己負担額は所得額に応じて300円又は無料、調剤にかかる自己負担額については、無料としております。</p> <p>市では、平成28年8月に通院の助成対象を小学6年生から中学3年生まで拡大し、また令和元年8月には、助成の要件としていた所得制限を廃止し、中学3年生までのすべての児童を対象とするよう対象者を拡充する制度の見直しを行ってまいりました。</p> <p>しかしながら、限られた財源の中で現行の子ども医療費助成制度を安定的かつ継続的に維持、運営していく必要があることから、更に対象年齢を拡大することについては現在のところ考えておりません。</p> <p>また、子ども医療費については、子育て環境の充実や子どもの保健対策の充実のため、社会保障制度に位置づけられるべきものであり、自治体によって助成制度に格差が生じることがないように、国において全国で統一した制度を創設するよう毎年、国や県に要望しているところです。</p> <p>御提案いただきました子ども医療費助成の対象年齢の拡大については、今回の手紙も含め、子育て世代等からのニーズがあることは承知しておりますので、国や県に引き続き要望していくほか、他市町村の状況等の情報収集に努めて参りますので、御理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>(関係課：子育て支援課)</p>